

館長裁定 平成31年3月26日

最終改正 令和6年1月11日

名古屋大学附属図書館公式 X 運用ポリシー

名古屋大学附属図書館(以下「当館」という。)のニュース、イベント等の効果的な情報発信を目的として公式 X を設け、その運用ポリシーを以下のとおり定める。

(1) 基本方針

① 当 X の責任者は附属図書館長とする。

② 掲載は附属図書館広報委員会が行う。

③ 掲載は、次のとおりとする。

a) 掲載内容

1) 当館のサービス・イベントなどの告知

2) 当館の開館日時及びサービスに関する緊急情報

3) 当館の所蔵資料及び設備の紹介

4) 当館の取組及び当館に関連する取組の紹介

5) その他、当館が認める内容

b) ユーザーとのコミュニケーション

1) 必要に応じ、掲載内容へのコメントに返信を行うことができる。

2) 他のアカウントから発信されたポストで、a)に合致し、当館が周知に値すると判断したものに對して、必要に応じてリポストなどのアクションを行うことができる。

④ 法令、公序良俗等に反する若しくは反するおそれがある、又は本学及び第三者を誹謗中傷する内容を含むコメントを行うアカウントに対して、附属図書館広報委員会は附属図書館長の判断により予告なくブロックし、悪質な場合は X 社に違反の報告を行うことができる。なお、附属図書館長はこの判断を情報サービス課長又は情報管理課長に委託することができる。

(2) 免責事項

① 当館は、当 X 掲載情報の正確性、完全性、有用性を必ずしも保証しない。

② 当館は、当 X に関連して生じた、ユーザー間のトラブル又はユーザーと第三者との間のトラブルにより、ユーザー又は第三者が被った損害について責任を負わない。

③ 当館は、当 X 掲載情報の利用によって、ユーザー又は第三者が被った損害について責任を負わない。その他、当 X に関連する事項によって生じたいかなる損害についても、当館は責任を負わない。

(3) その他

- ① 当 X に投稿されたコンテンツ等に関する知的財産権は、当館又は当館が認める権利者に帰属する。
- ② 当 X は、当館が管理するアカウントで運用する。
- ③ 当 X は、事前に告知なく停止又は削除となる場合がある。
- ④ 本ポリシーは、当館 Web サイトに掲載する。
- ⑤ 本ポリシーに沿った運用で問題が発生した場合、必要に応じて本ポリシーの改定を行う。
- ⑥ その他運用に関する詳細は、別途運用マニュアルの定めるところによる。